

The Whisper from Amherst



エミリオは1886年(明治19年)の5月15日、55歳で生涯を閉じました。

自分は天使たちよりもずっと優しく、柔軟な心の持ち主であることを主張し、天国から締め出さないでと懇願する素振りの下で、締め出す者の硬直した心や態度を揶揄する調子もにじませている作品です。

‘Why—do they shut Me out of Heaven?’

Why—do they shut Me out of Heaven?
Did I sing—too loud?
But—I can say a little “Minor”
Timid as a Bird!

Wouldn’t the Angels try me—
Just—once—more—
Just—see—if I troubled them—
But don’t—shut the door!

Oh, if I—were the Gentleman
In the “White Robe”—
And they—were the little Hand— that knocked—
Could—I—forbid?

なぜ—あの方々はわたくしを天国から締め出すのでしょうか？
うたう声—やかましかった？
でも—わたくしはちょっと「短調」にだっとうたえます
小鳥のようにおずおずと！

天使の方々はためしてみても下さらないものかしら—
ほんの—もう—いちどだけ—
ほんの—わたくしがお邪魔かどうか—確かめるだけ—
でもどうぞ—扉を閉めないで下さい！

ああ、もしわたくしが—「白い衣」を着た
紳士でしたら—
そしてあの方々が—扉をたたく—小さな手でしたら—
できるでしょうか—わたくしに—拒むことなんて？

※「白い衣」を着た紳士=天使